

こんにちは！あかちゃん

1月以降に大森山動物園で生まれた赤ちゃんをご紹介します。

ツキノワグマ

バッケ

2月5日に7年ぶりにツキノワグマの赤ちゃんが生まれました。お母さんのルビーには2頭目、お父さんのコゴミにとっては初めての赤ちゃんです。名前は「バッケ」といいます。秋田の方言でフキノトウのことです。展示場で元気いっぱい動き回っています。



バッケ 4月22日



バッケ 6月19日



マーコール 双子 7月5日

マーコール

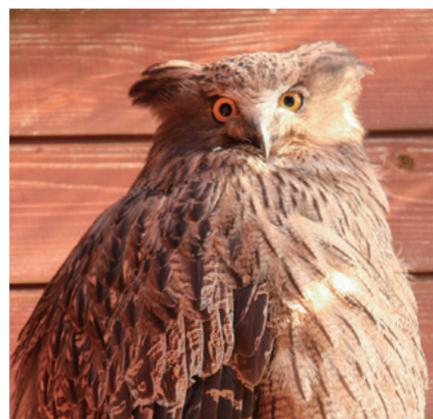
6月25日に双子が生まれました。5年ぶりの繁殖です。しばらくオスしかいませんでしたが、昨年、川崎市夢見ヶ崎動物公園からメスのクルミが来てくれたおかげで誕生した久しぶりの赤ちゃんです(8ページでも紹介)。

このほか、アカカンガルー、ワオキツネザル、プレーリードッグ、ニホンリス、ホンドザル、コモンマーモセット、シロフクロウに赤ちゃんが生まれています。

よろしくね！
仲間入りした動物たち

シマフクロウ

3月29日に釧路市動物園からメスのシマフクロウ「愛花」がやって来ました。現在、北海道以外では大森山動物園のみで展示しています。大森山動物園は、イヌワシをはじめとした猛禽類の飼育および繁殖の実績が評価され、シマフクロウの生息域外保全に取り組むことになりました。まずは愛花をしっかり飼育展示し、いずれは繁殖に取り組みたいと考えています(8ページでも紹介)。



愛花

元気でね！
大森山を後にした動物たち



一颯

ニホンイヌワシ

ニホンイヌワシの「一颯(いぶぎ)」が熊本市動植物園に引っ越しました。九州では初めての飼育です。野生由来であるお母さんの西目の血を引く貴重な系統です。熊本で新しい家族をつくり、早くお父さんになってもらいたいです。

このほか、シロフクロウが他の動物園に旅立ちました。



なお

ライオン

昨年9月に4頭生まれたライオンで唯一のメスの「なお」。生後3カ月頃に足を痛めてしまい、治療のため兄弟たちとは別に飼育していましたが、3月には足の具合もすっかり良くなり、仙台市八木山動物公園に引っ越しました。仙台では同じ年頃のオスとすっかり仲良くなり元気に頑張っているそうです。

訃報 忘れないよ...

コセン (サンショクキムネオオハン) 1月19日死亡

コセンは2004年3月に大森山動物園にやって来ました。その鮮やかな色彩とユニークなエサの食べ方などで、写生大会では多くの子どもたちが絵を描いてくれました。コセンが強気な性格のため、3年ほど前に繁殖を目的に導入したオオハン君とは同居時にケンカをしてしまい、結局夫婦になることはできませんでした。



コセン

コマチ (トナカイ) 6月11日死亡

コマチは2003年に大森山動物園で生まれ、最初はハルコという名前でした。2008年に千葉市動物公園に嫁入りし、コマチという名前になりました。昨年、旦那さんのルイと里帰りし、初めて赤ちゃんを授かりました。6月9日産気づきましたが、なかなか赤ちゃんが出てこなかったため、帝王切開に踏み切りました。赤ちゃんは既に亡くなっており、コマチだけでもと手を尽くしましたが、残念ながら亡くなりました。



コマチ

このほか、ホンドタヌキ、アカカンガルー、ワタボウシタマリン、キョン、スパールバルライチョウ等が亡くなりました。

◎飼育動物数 2019年6月末現在

哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	無脊椎	合計
53種	26種	11種	5種	3種	1種	99種
355点	161点	24点	8点	17点	23点	588点